

# 「胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影および超音波内視鏡を用いた処置に関する後方視的検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 7 月 5 日 ～ 平成 34 年 12 月 31 日

## 〔研究課題〕

胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影および超音波内視鏡を用いた処置に関する後方視的検討

## 〔研究目的〕

胆膵領域疾患に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)および超音波内視鏡(EUS)を用いた内視鏡処置について、短期的・長期的成績を明らかにすること

## 〔研究意義〕

胆膵領域疾患に対する内視鏡手技は、内視鏡手技のなかでも比較的リスクの高い手技として位置づけられています。本研究により治療の現状と問題点を明確にすることで、患者様に対するより正確かつ詳細な情報提供を行い、より適切な治療を選択することが可能となると考えています。

## 〔対象・研究方法〕

対象となるのは、2014 年 4 月から 2017 年 3 月までの期間、当施設において胆膵疾患に対して ERCP および EUS を行った方です。

対象となる方のカルテ情報から、患者さんの基本情報(年齢、性別、診断名、基礎疾患、服薬内容など)、対象疾患情報(発見時期、症状、血液検査所見、画像検査所見、診断病期など)、手技内容(処置日、使用デバイス、処置内容、偶発症など)、長期成績(処置後の経過など)を抽出し、解析・検討させていただきます。

## 〔研究機関名〕

帝京大学附属溝口病院 消化器内科

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究実施に係る生データ類を取扱う際は、患者様の個人情報保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、患者様を特定できる情報を含まないようにし、研究の目的以外に研究で得られた患者様のデータを使用されることはありません。

## 〔その他〕

本研究は後ろ向きの観察研究であり、患者に費用負担および健康被害は生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部附属溝口病院消化器内科 講師 土井 晋平

研究分担者: 同 講師 馬淵 正敏、助教 辻川 尊之、助教 関根 一智

住所: 〒213-8507 神奈川県川崎市高津区溝口 3-8-3

TEL: 044-844-3201 (代表)